

---

---

平成 29 年度

修学旅行の実施状況並びに  
「学びの集大成を図る修学旅行」の取組  
についてのアンケート

---

---

< 関修委研究委員会報告 >

関東地区公立中学校修学旅行委員会 研究委員会  
(事務局 : 公益財団法人 全国修学旅行研究協会)

平成29年度

修学旅行の実施状況並びに「学びの集大成を図る修学旅行」の取組について  
調査集計結果の分析と考察 ～感性をはぐくむ修学旅行～

## I 調査研究のねらい

学習指導要領は、昭和22年に発表されて以来7回の全面改定が実施され、我が国の学校教育の基本的指針となってきた。そして、今年3月には、8回目の改訂となる新しい学習指導要領が告示され、改訂のポイントとして、「何を学ぶか」「どのように学ぶか」「何ができるようになるか」という、学校教育の方向性について三つの視点が明確に示された。

修学旅行については、「特別活動」において文言が若干加筆された以外は大きな変化はなく、「どのように学ぶか」に係わって、「主体的・対話的で深い学び（アクティブ・ラーニング）」の視点からの学習過程の改善が重要であることを考えると、その教育的価値と重要性は高まっていくと思われる。修学旅行は所謂、アクティブ・ラーニングの宝庫であることから、更にその教育性の質的な改善を行っていくことが求められているのではないかと考える。

本委員会は昭和38年に発足し、学習指導要領の趣旨を具現化するため、関東5県（茨城・栃木・群馬・埼玉・千葉）中学校長会と連携し、修学旅行の「安全性の確保」、「教育性の充実」、「経済性の適正化」を基本的な柱として、修学旅行の在り方、条件整備等について研究を進めてきた。また、平成28年度までに、関東5県で7,413,224人の修学旅行生を運ぶ、連合体輸送を行って来るとともに、修学旅行の更なる充実・発展を図るため、調査研究活動に毎年取り組んでいる。

研究テーマは、その時代の教育課題であったり、社会の教育的要請であったり、様々である。体験学習や事前・事後学習、危機管理と安全対策、感染症や食物アレルギー対策、航空機利用や新線ルートの活用など、これまで多くのテーマについて、各学校における取組や課題、将来的な展望等について、実態調査を行ってきた。

今年度は、実施方面の検討・変更について、決定の際のポイントや予定等についてアンケートを実施した。また、一昨年度から引き続き実施している、『感性をはぐくむ修学旅行』をテーマにした、「学びの集大成を図る修学旅行」の取組について、

- ① 修学旅行を通して生徒に育成したいものについて
- ② 修学旅行の企画・実施における生徒の関わり方について
- ③ 修学旅行に係る3年間を見通した取組等について

上記の3つを柱に調査研究を進めている。

何れにしても、「平素と異なる生活環境にあって、見聞を広め、自然や文化などに親しむとともに、集団生活の在り方や公衆道徳などについての望ましい体験を積むことができるような活動を行うこと。」という、学習指導要領の目指すところは、日々の学校の学習活動を更に充実・発展させることが一つの大きなねらいである。日本人の旅の原点の一つでもある修学旅行について、今後とも、その重要性と可能性を展望しながら調査研究を進めていきたい。

## II 平成29年度修学旅行の実施状況並びに 「学びの集大成を図る修学旅行」の取組についてのアンケート調査

### <調査について>

- ・ 調査対象 関東5県(茨城・栃木・群馬・埼玉・千葉)の公立中学校
- ・ 調査の時期 平成29年7月
- ・ 調査内容
  1. 平成29年度実施(調査以降の予定を含む)の修学旅行の概況  
時期・日数・旅行方面・宿泊地・旅行費用・不参加生徒数
  2. 実施方面の検討・変更について
  3. 「学びの集大成を図る修学旅行」の取組について
  4. 修学旅行中の安全対策について
  5. 関係者への意見、要望等について

### ・回答状況

	校					
	茨城	栃木	群馬	埼玉	千葉	合計
調査校数	219	154	163	412	380	1,328
回答数	219	154	160	412	379	1,324
回答率	100.0%	100.0%	98.2%	100.0%	99.7%	99.7%

### 過去回答率

	24年	25年	26年	27年	28年
調査校数	1,365	1,361	1,362	1,345	1,339
回答数	1,230	1,244	1,222	1,266	1,333
回答率	90.1%	91.4%	89.7%	94.1%	99.6%

※本年度実施なし1校

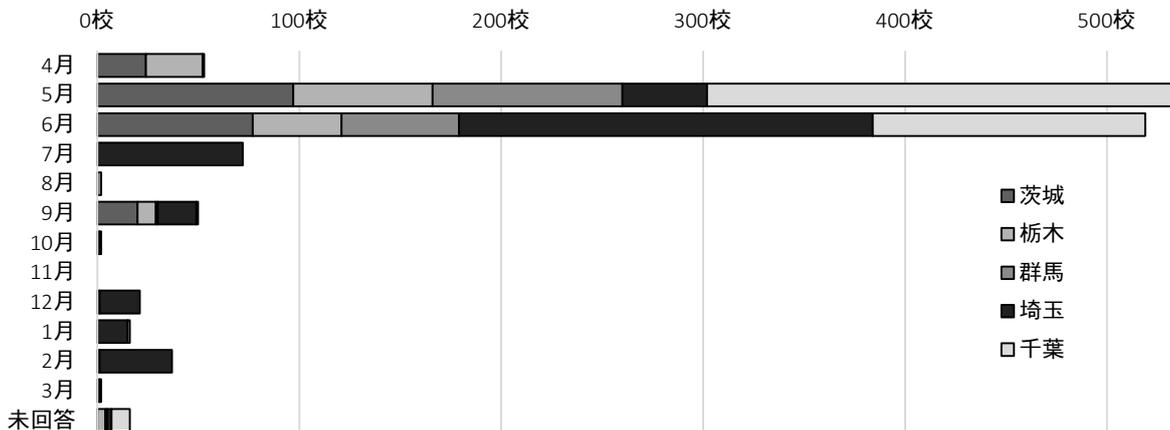
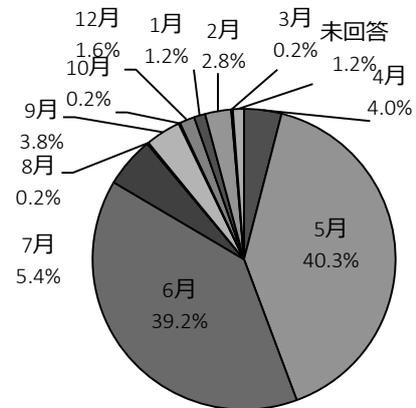
### ・学年平均生徒数

	人					
	茨城	栃木	群馬	埼玉	千葉	平均
生徒数	117	115	113	148	134	130
最多	267	331	286	364	397	-
最少	7	3	2	11	6	-

## 1 平成29年度修学旅行実施の状況

### (1) 実施時期

	校						
	茨城	栃木	群馬	埼玉	千葉	合計	割合
4月	24	28	1			53	4.0%
5月	97	69	94	42	232	534	40.3%
6月	77	44	58	205	135	519	39.2%
7月				72		72	5.4%
8月			2			2	0.2%
9月	20	9	1	19	1	50	3.8%
10月			1		1	2	0.2%
11月						0	0.0%
12月			1	20		21	1.6%
1月				15	1	16	1.2%
2月	1			36		37	2.8%
3月			1	1		2	0.2%
未回答		4	1	2	9	16	1.2%

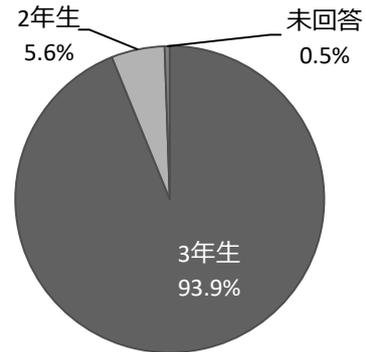


### 実施時期、日数等の状況

- ・実施時期は5～6月がもっとも多く、79.5%の学校が実施している。
- ・関修委の集約列車を利用せず4月実施の学校が53校あり、昨年に比べ6校減少している。
- ・9月実施校は年々増加傾向にあるが、その傾向は今年も続いている。  
(24年) (25年) (26年) (27年) (28年) (29年)  
31校 ⇒ 31校 ⇒ 36校 ⇒ 41校 ⇒ 47校 ⇒ 50校
- ・1月～3月の冬季に実施している学校はほぼ横ばいであるが、今年若干減少した。  
(24年) (25年) (26年) (27年) (28年) (29年)  
62校 ⇒ 58校 ⇒ 59校 ⇒ 58校 ⇒ 458 ⇒ 55校

### (2) 実施学年

	茨城	栃木	群馬	埼玉	千葉	合計	割合
3年生	218	151	159	341	374	1,243	93.9%
2年生	1			71	2	74	5.6%
未回答		3	1		3	7	0.5%



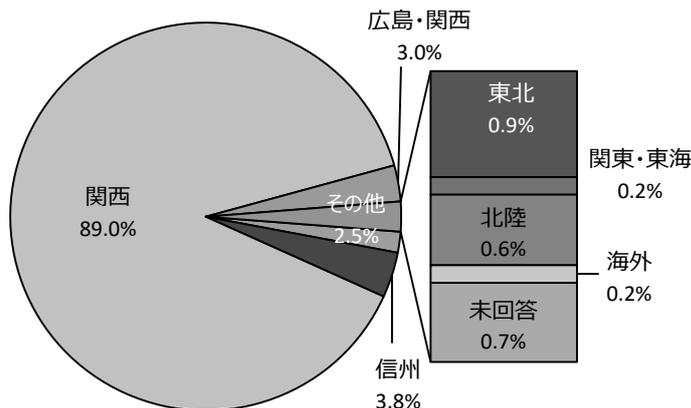
### (3) 実施日数

	茨城	栃木	群馬	埼玉	千葉	合計	割合
3日間	218	150	157	409	371	1,305	98.6%
4日間	1				2	3	0.2%
5日間以上			2			2	0.2%
未回答		4	1	3	6	14	1.1%

- ・実施日数は3日間が圧倒的に多く、98.6%となっている。
- ・群馬県の5日間以上は夏季休業中の海外ホームステイ実施校である。

### (4) 実施方面

	茨城	栃木	群馬	埼玉	千葉	合計	割合
東北					12	12	0.9%
会津・日光					23	23	1.7%
関東、東海					2	2	0.2%
信州					50	50	3.8%
北陸					8	8	0.6%
関西	204	142	147	410	275	1,178	89.0%
広島・関西	15	7	10	2	6	40	3.0%
海外			2			2	0.2%
未回答		5	1		3	9	0.7%

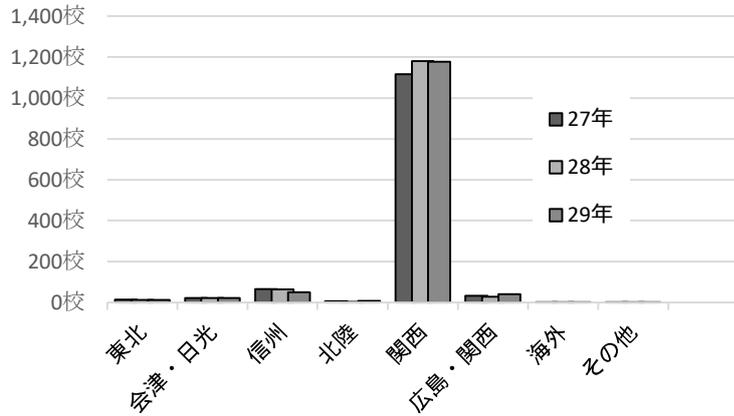


**実施方面**

・関西方面への人気は高く、昨年に比べて5校(0.4%)増えている。また、広島・関西方面についても11校(0.8%)増加となった。

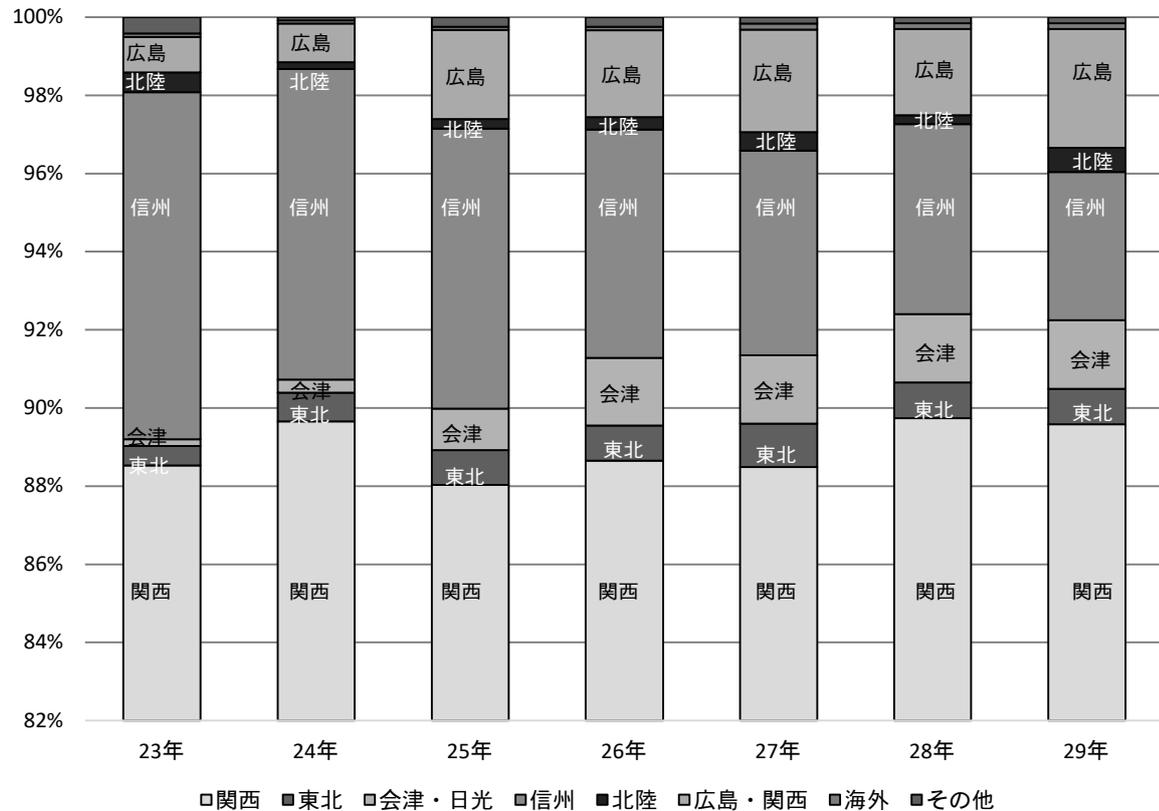
・東日本大震災後、激減した東北方面は年々増加してきたが、ここ2、3年は現状維持の状態が続いている。

・北陸新幹線の開業にともない、信州方面がやや減少傾向にあり、一方で北陸方面が増加してきている。



**・東北、会津・日光、信州方面**

	22年	23年	24年	28年	29年
東北)	21校	<b>6校</b>	9校	12校	12校
会津・日光)	43校	<b>2校</b>	4校	23校	23校
信州)	60校	<b>107校</b>	97校	64校	50校



## (5)-1 宿泊地(県) 一泊目

29年	28年						校					
	茨城	栃木	群馬	埼玉	千葉	合計		茨城	栃木	群馬	埼玉	千葉
青森県					5	5					6	6
岩手県					4	4					2	2
宮城県					1	1					1	1
山形県					2	2					3	3
福島県					22	22					21	21
栃木県					2	2						0
群馬県					1	1					1	1
神奈川県					0	0					1	1
新潟県					4	4					5	5
長野県					48	48					53	53
石川県					5	5					3	3
岐阜県					2	2					7	7
滋賀県	5	3	1	5	11	25	1	2			11	14
奈良県	11	8		17	11	47	6	12	6	15	7	46
京都府	200	140	152	388	246	1,126	211	138	134	395	244	1,122
大阪府					7	7		1	1		9	11
兵庫県					1	1						0
広島県	3	1	4	2	5	15	3	3	5	2	3	16
長崎県						0					1	1
海外			2			2			2			2
未回答		2	1		2	5		1	15		2	18
合計(延校数)	219	154	160	412	379	1,324	221	157	163	412	380	1,333

## (5)-2 宿泊地(県) 二泊目

29年	28年						校					
	茨城	栃木	群馬	埼玉	千葉	合計		茨城	栃木	群馬	埼玉	千葉
青森県					5	5					6	6
岩手県					3	3					2	2
宮城県					2	2					3	3
山形県					2	2					1	1
福島県					22	22					20	20
群馬県					1	1					1	1
栃木県					2	2						0
神奈川県						0					1	1
新潟県					4	4					5	5
長野県					50	50					59	59
富山県					1	1					2	2
石川県					4	4					2	2
岐阜県						0					1	1
滋賀県	5	2	1	5	12	25		2			12	14
奈良県	9	5		11	1	26	5	2		10	2	19
京都府	205	144	156	394	262	1,161	215	151	146	400	253	1,165
大阪府		1		1	5	7		1			7	8
兵庫県				1	1	2				2		2
長崎県						0					1	1
海外			2			2			1			1
未回答		2	1		2	5	1	1	16		2	20
合計(延校数)	219	154	160	412	379	1,324	221	157	163	412	380	1,333

**宿泊地**

・関西方面の宿泊地については、京都の人気は根強く、その傾向は続いている。一方で、滋賀県や奈良県での宿泊も昨年に比べると増えてきている。

・東北方面では県によって微増、微減、現状維持のところに分かれるが、大きな変化にはなっていない。

・長野県は新幹線が北陸まで延伸したこともあり、やや減少傾向にある。

## (5)-3 連泊状況

校

二泊目 一泊目	青森	岩手	山形	宮城	福島	群馬	神奈川	新潟	長野	富山	石川	合計
青森	5											5
岩手		3	1									4
宮城			1									1
山形				2								2
福島					22							22
栃木						2						2
群馬							1					1
新潟								4				4
長野									48			48
石川										1	4	5
岐阜									2			2
合計	5	3	2	2	22	2	1	4	50	1	4	96

校

二泊目 一泊目	滋賀	奈良	京都	大阪	兵庫	海外	合計
滋賀	23		2				25
奈良	1	3	41	2			47
京都	1	22	1,100	1	2		1,126
大阪			3	4			7
兵庫			1				1
広島		1	14				15
海外						2	2
合計	25	26	1,161	7	2	2	1,223

## (5)-4 宿泊県別生徒数

一泊目

二泊目

人

	茨城	栃木	群馬	埼玉	千葉	合計	茨城	栃木	群馬	埼玉	千葉	合計
青森県					741	741					741	741
岩手県					635	635					469	469
宮城県					106	106					272	272
山形県					440	440					440	440
福島県					2,475	2,475					2,475	2,475
栃木県					47	47					47	47
群馬県					46	46					46	46
新潟県					476	476					476	476
長野県					7,403	7,403					7,730	7,730
富山県						0					102	102
石川県					1,120	1,120					1,018	1,018
岐阜県					327	327						0
滋賀県	783	307	192	736	1,406	3,424	783	238	192	695	1,661	3,569
奈良県	890	686		2,051	1,472	5,099	924	266		1,184	59	2,433
京都府	23,418	15,721	17,218	55,332	31,330	143,019	23,815	16,111	17,540	56,277	33,257	147,000
大阪府					436	436		117		98	423	638
兵庫県					64	64				82	72	154
広島県	431	18	322	217	764	1,752					0	0
海外					19	19					19	19
合計(延人数)	25,522	16,732	17,732	58,336	49,307	167,629	25,522	16,732	17,732	58,336	49,307	167,629

(6) 県別旅行費用(生徒一人当たり平均額) 校

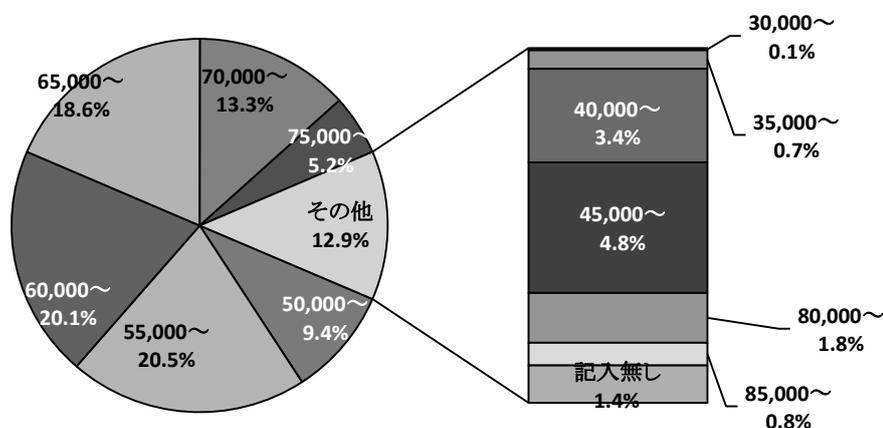
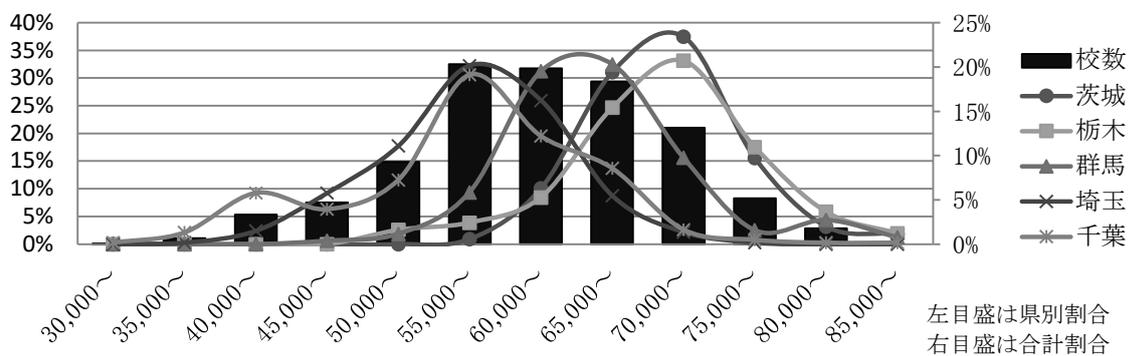
	茨城	栃木	群馬	埼玉	千葉	合計	割合
30,000～					1	1	0.1%
35,000～				1	8	9	0.7%
40,000～				10	35	45	3.4%
45,000～			1	38	24	63	4.8%
50,000～		4	3	73	44	124	9.4%
55,000～	2	6	15	133	116	272	20.5%
60,000～	22	13	50	107	74	266	20.1%
65,000～	68	38	52	36	52	246	18.6%
70,000～	82	51	25	9	10	177	13.4%
75,000～	34	27	4	1	3	69	5.2%
80,000～	7	9	7		1	24	1.8%
85,000～	4	3	2		1	10	0.8%
未回答		3	1	4	10	18	1.4%
合計	219	154	160	412	379	1,324	100.0%

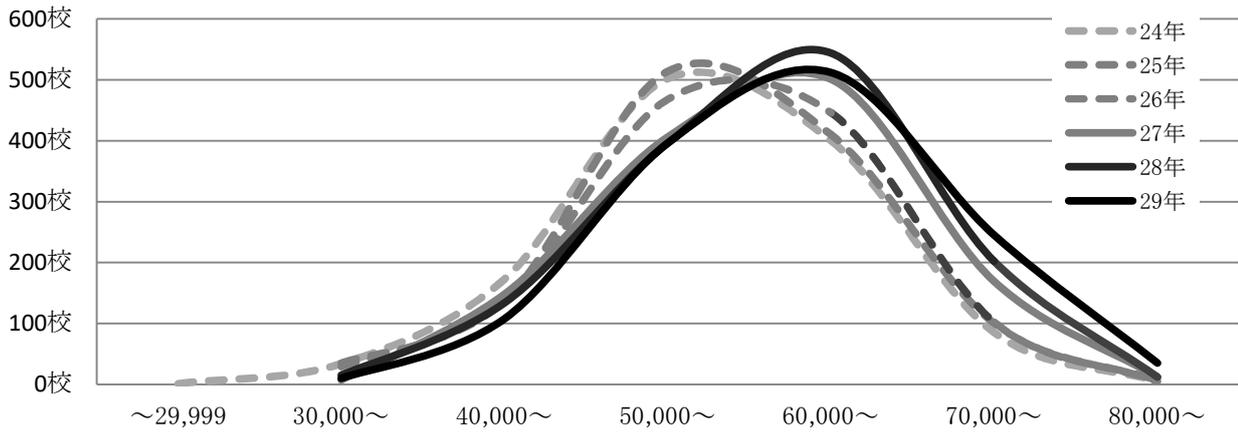
県別旅行費用

・1人当たりの平均費用は55,000～75,000円未満に多く分布するが、各県によって、その分布状況は大きく異なる。

・県別に見ると、茨城県と栃木県は65,000～75,000円未満に最大分布があるが、群馬県は60,000円～70,000円未満、埼玉県と千葉県は55,000～65,000円未満に分布が来ている。

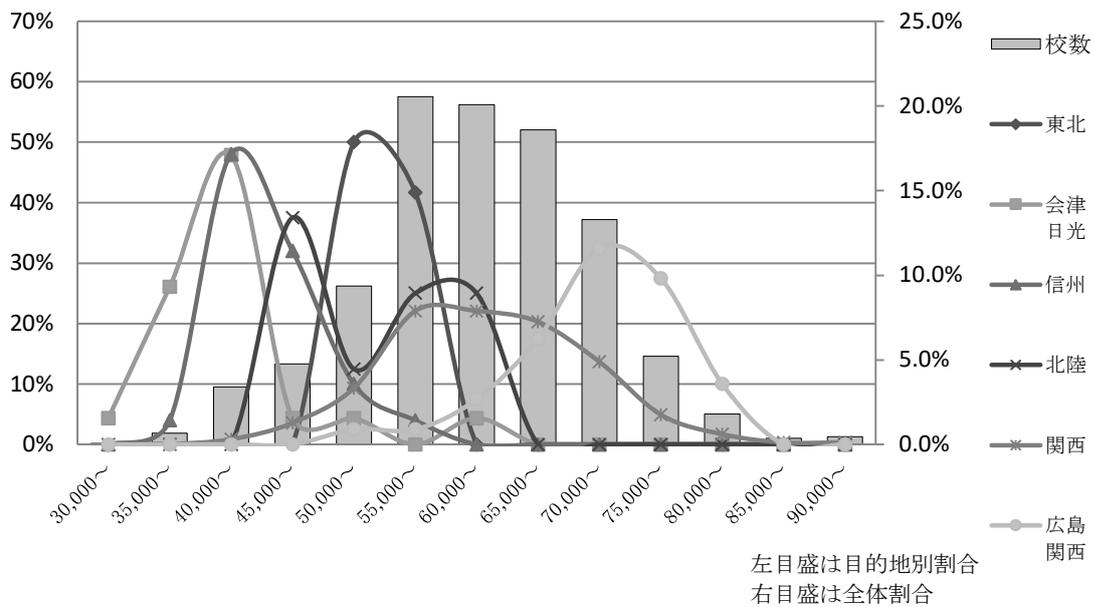
・千葉県は方面が多岐にわたるため、また費用も広く分布している。





(7) 方面別旅行費用(生徒一人当たり平均額)

	東北	会津日光	関東	信州	北陸	関西	広島 関西	海外	未回答	合計
30,000～		1								1
35,000～		6		2		1				9
40,000～		11		24		10				45
45,000～		1	1	16	3	42				63
50,000～	6	1		5	1	110	1			124
55,000～	5		1	2	2	260	1		1	272
60,000～		1			2	260	3			266
65,000～						239	7			246
70,000～						161	13		2	176
75,000～						58	11			69
80,000～						20	4			24
85,000～						4			1	5
90,000～						4		2		6
未回答	1	2		1		9			5	18
合計	12	23	2	50	8	1,178	40	2	9	1,324



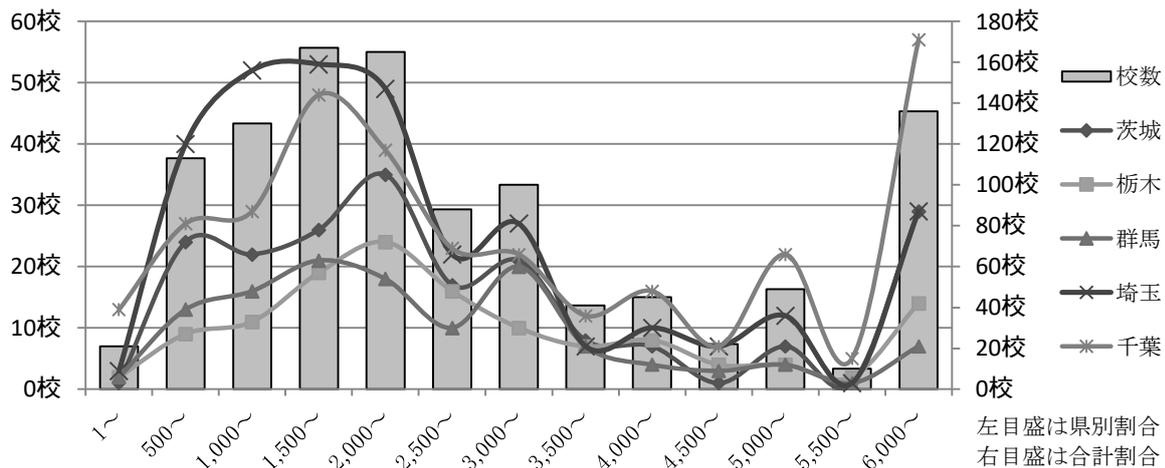
(8) 県別体験活動費用(生徒一人当たり平均額) 校

	茨城	栃木	群馬	埼玉	千葉	合計	割合
1～	1	2	2	3	13	21	1.6%
500～	24	9	13	40	27	113	8.5%
1,000～	22	11	16	52	29	130	9.8%
1,500～	26	19	21	53	48	167	12.6%
2,000～	35	24	18	49	39	165	12.5%
2,500～	17	16	10	22	23	88	6.6%
3,000～	21	10	20	27	22	100	7.6%
3,500～	8	7	7	7	12	41	3.1%
4,000～	7	8	4	10	16	45	3.4%
4,500～	1	4	3	7	7	22	1.7%
5,000～	7	4	4	12	22	49	3.7%
5,500～	1	2	1	1	5	10	0.8%
6,000～	29	14	7	29	57	136	10.3%
0または未回答	20	24	34	100	59	237	17.9%
合計	219	154	160	412	379	1,324	100.0%

体験活動費用

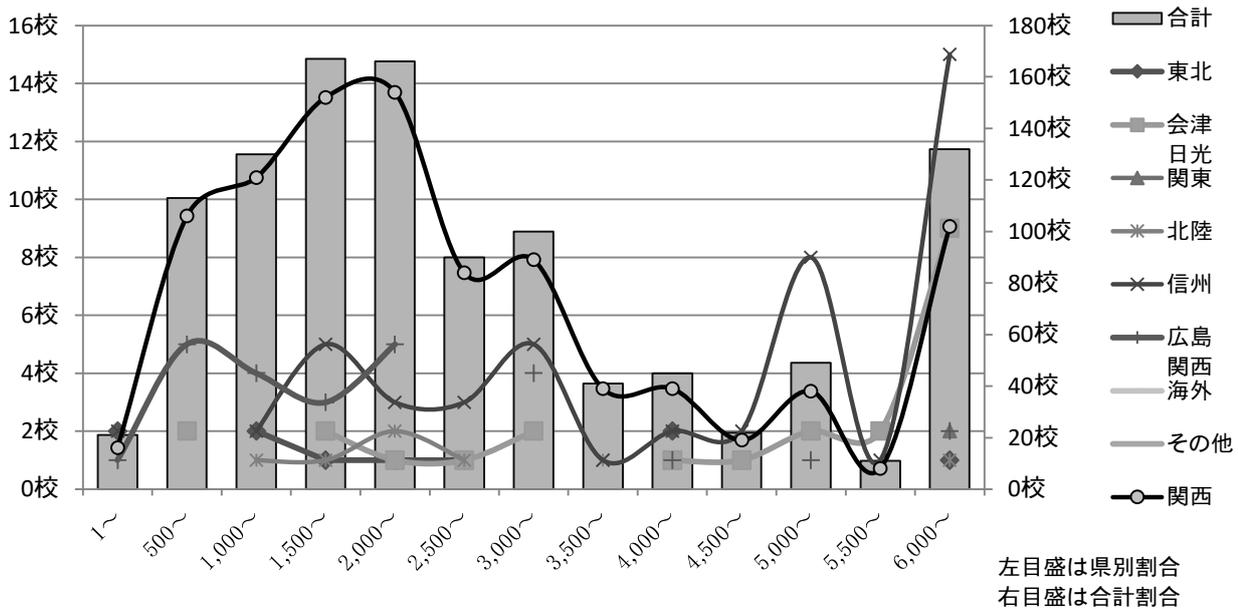
・生徒一人当たりの体験活動費用は1,500～2,500円未満の範囲が最も多くなっているが、決して、突出した数字ではなく、全体の25.1%に過ぎない。むしろ、まんべんなく分布しているといった方が正確である。

・体験活動費用に5,000円以上かけている学校の割合が、昨年は14.3%、今年は14.8%と若干ではあるが増加傾向にある。



(9) 方面別体験活動費用(生徒一人当たり平均額) 校

	東北	会津日光	関東	信州	北陸	関西	広島 関西	海外	その他	未回答	合計
1～	2			2		16	1				21
500～		2				106	5				113
1,000～	2			2	1	121	4				130
1,500～	1	2		5	1	152	3			3	167
2,000～	1	1		3	2	154	5				166
2,500～	1	1		3	1	84					90
3,000～		2		5		89	4				100
3,500～				1	1	39					41
4,000～	2	1		2		39	1				45
4,500～		1		2		19					22
5,000～		2		8		38	1				49
5,500～		2		1		8					11
6,000～	1	9	2	15	1	102	2				132
未回答	2			1	1	211	14	2		6	237
合計	12	23	2	50	8	1,178	40	2	0	9	1,324



(10) 方面別旅行費用平均(生徒一人当たり平均額)

	茨城	栃木	群馬	埼玉	千葉	平均	最高額	最低額
東北					54,514	54,514	58,189	50,000
会津・日光					42,097	42,097	60,000	13,800
信州					45,064	45,064	55,027	39,292
北陸					54,183	54,183	61,500	46,639
関西	70,372	70,372	65,527	57,483	60,416	62,943	81,820	34,976
広島・関西	75,862	73,778	70,469	60,368	65,634	71,840	69,196	54,000
海外(ホームステイ)			360,000					-
その他								
平均	70,561	70,669	65,842	57,497	56,948	62,062	-	-
最高額	87,454	87,387	84,936	77,856	81,820	-	-	-
最低額						-	-	-

※平均/最高金額は海外及び3泊4日の実施校は除く  
※小数点以下四捨五入

方面別費用平均(※海外除く)

・関西方面の費用は、東京駅までの距離に関係して、茨城県、栃木県、群馬県の3県が比較的に高額であるのに対して、千葉県、埼玉県は3県よりは、やや低い金額となっている。広島・関西方面も同様の結果となっている。

・千葉県は東北、会津・日光、信州、北陸と行き先が多方面に分布し、金額もまちまちである。

・関西方面の平均費用は62,943円となり、昨年の61,977円より966円の増となった。広島・関西方面も平均費用が71,840円となり、昨年の71,071円より769円増加している。

・今年度の旅行費用平均は、昨年(60,917円)より1,145円増の **62,062円**となった。一昨年、初めて6万円を超えたが、その傾向は続いている。

(11) 方面別体験活動費用平均(生徒一人当たり平均額)

円

	茨城	栃木	群馬	埼玉	千葉	平均	最高額	最低額
東北					3,116	3,116		
会津・日光					5,157	5,157		
信州					4,739	4,739		
北陸					3,492	3,492		
関西	3,049	3,007	2,636	2,721	3,073	2,895		
広島・関西	1,810	3,227	1,124	1,000	1,333	1,829		
その他								
最高額	14,000	14,000	11,780	15,600	21,743	-		-

※小数点以下四捨五入

方面別体験活動費用

・体験活動費用は学校のねらいや目的、その内容、方法等が実に多様であるため、各学校によりかなり異なる。

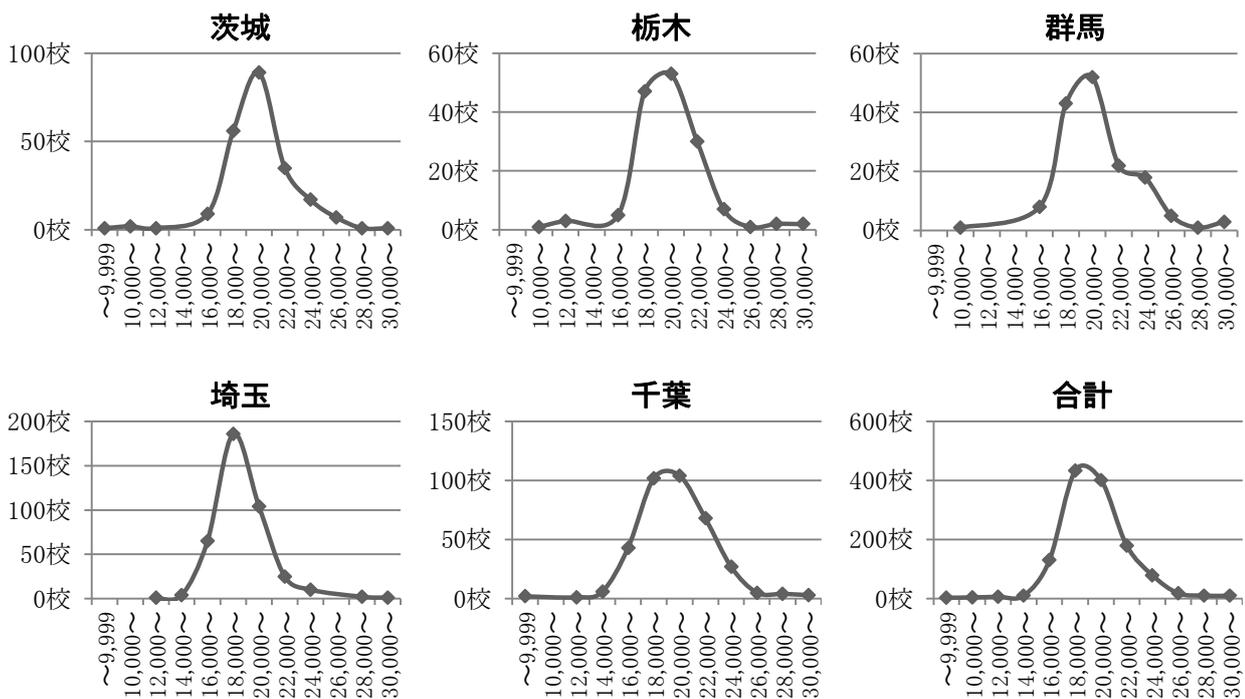
・関西地区の体験活動における平均費用は2,895円と昨年(3,166円)と比べると若干下がってはいるものの、依然として高い水準を維持している。

(12) 県別宿泊費用(生徒一人当たり平均額)

校

	茨城	栃木	群馬	埼玉	千葉	合計
～9,999	1				2	3
10,000～	2	1	1			4
12,000～	1	3		1	1	6
14,000～				4	6	10
16,000～	9	5	8	65	43	130
18,000～	56	47	43	186	102	434
20,000～	88	53	52	104	104	401
22,000～	35	30	22	25	68	180
24,000～	17	7	18	10	26	78
26,000～	7	1	5		5	18
28,000～	1	2	1	2	4	10
30,000～	1	2	3	1	3	10
未回答/2泊以上	1	3	7	14	15	40
合計	219	154	160	412	379	1,324

※2泊3日実施校平均



(13) 方面別宿泊費用(生徒一人当たり平均額)

校

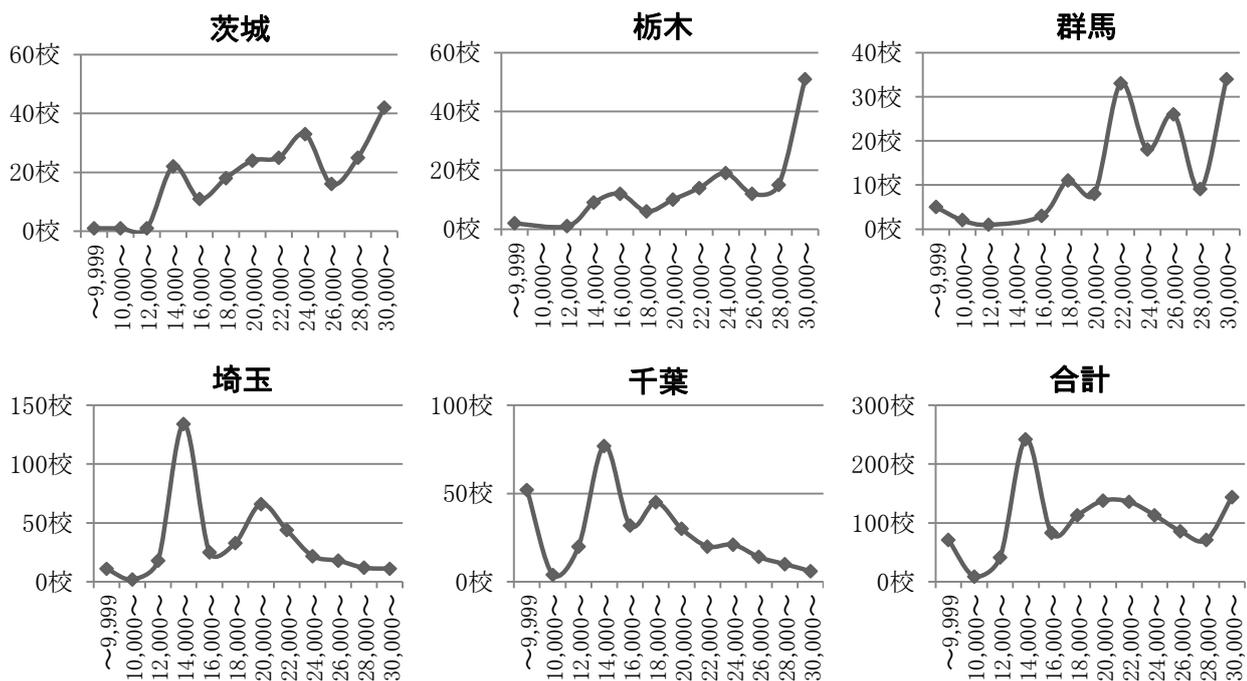
	東北	会津日光	信州	北陸	関西	広島 関西	海外	その他	未回答	合計
～9,999		1	1		1					3
10,000～					4					4
12,000～					4				2	6
14,000～	1	1	3		5					10
16,000～	2	14	15	2	93	2		2		130
18,000～	2	5	23	3	383	18				434
20,000～	4	1	6	1	376	14				402
22,000～	3			2	170	4			1	180
24,000～		1			76	1			1	79
26,000～					18					18
28,000～					10					10
30,000～			1		9					10
未回答			1		29	1	2		5	38
合計	12	23	50	8	1,178	40	2	2	9	1,324

(14) 県別交通費(生徒一人当たり平均額)

校

	茨城	栃木	群馬	埼玉	千葉	合計
～9,999	1	2	5	11	52	71
10,000～	1		2	2	4	9
12,000～	1	1	1	18	20	41
14,000～	22	9		134	77	242
16,000～	11	12	3	25	32	83
18,000～	18	6	11	33	45	113
20,000～	24	10	8	66	30	138
22,000～	25	14	33	44	20	136
24,000～	33	19	18	22	21	113
26,000～	16	12	26	18	14	86
28,000～	25	15	9	12	10	71
30,000～	42	51	34	11	6	144
未回答		3	10	16	48	77
合計	219	154	160	412	379	1,324

※一部貸切バス代含む



(15) 方面別交通費(生徒一人当たり平均額)

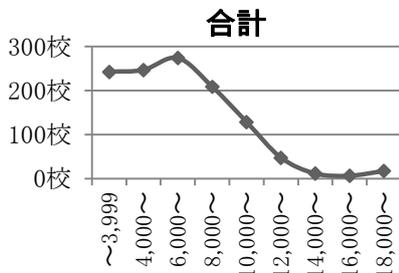
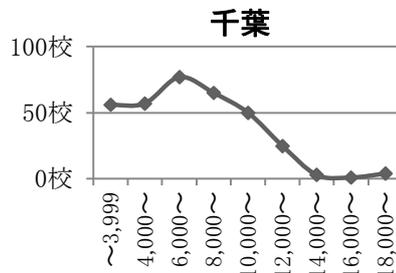
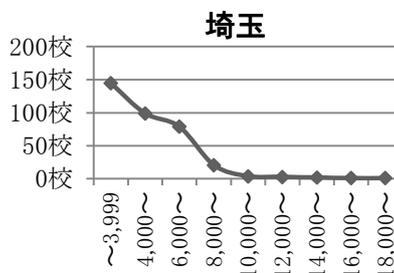
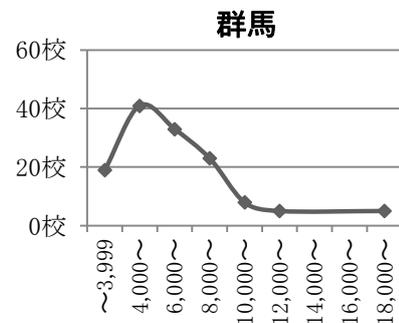
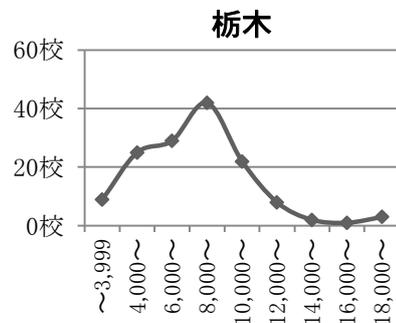
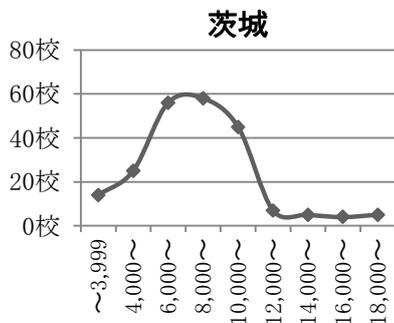
校

	東北	会津日光	信州	北陸	関西	広島 関西	海外	その他	未回答	合計
～9,999	1	13	28	1	25	2		1		71
10,000～			2		7					9
12,000～	2		1		38					41
14,000～					241			1		242
16,000～	4		1		77	1				83
18,000～	2				109	2				113
20,000～				2	135	1				138
22,000～					136					136
24,000～	1			1	110	1				113
26,000～				1	79	4		2		86
28,000～					67	4				71
30,000～				1	118	24		1		144
未回答	2	10	18	2	36	1	2	1	5	77
合計	12	23	50	8	1,178	40	2	2	9	1,324

(16) 県別貸切バス代(生徒一人当たり平均額)

校

	茨城	栃木	群馬	埼玉	千葉	合計
～3,999	14	9	19	145	56	243
4,000～	25	25	41	99	57	247
6,000～	56	29	33	79	77	274
8,000～	58	42	23	21	65	209
10,000～	45	22	8	4	50	129
12,000～	7	8	5	3	25	48
14,000～	5	2		2	3	12
16,000～	4	1		1	1	7
18,000～	5	3	5	1	4	18
未回答						0
合計	219	141	134	355	338	1,187



(17) 方面別貸切バス代(生徒一人当たり平均額)

校

	東北	会津日光	信州	北陸	関西	広島 関西	海外	その他	未回答	合計
～3,999		1	2	1	229	10				243
4,000～	2				229	15				246
6,000～	6		5	1	257	5				274
8,000～		4	9		192	3				208
10,000～	2	9	20	2	93	2				128
12,000～		7	12	1	26					46
14,000～		1			11					12
16,000～		1			5	1				7
18,000～			1		17					18
未回答										0
合計	10	23	49	5	1,059	36	0	0	0	1,182

(18) 県別内訳平均額

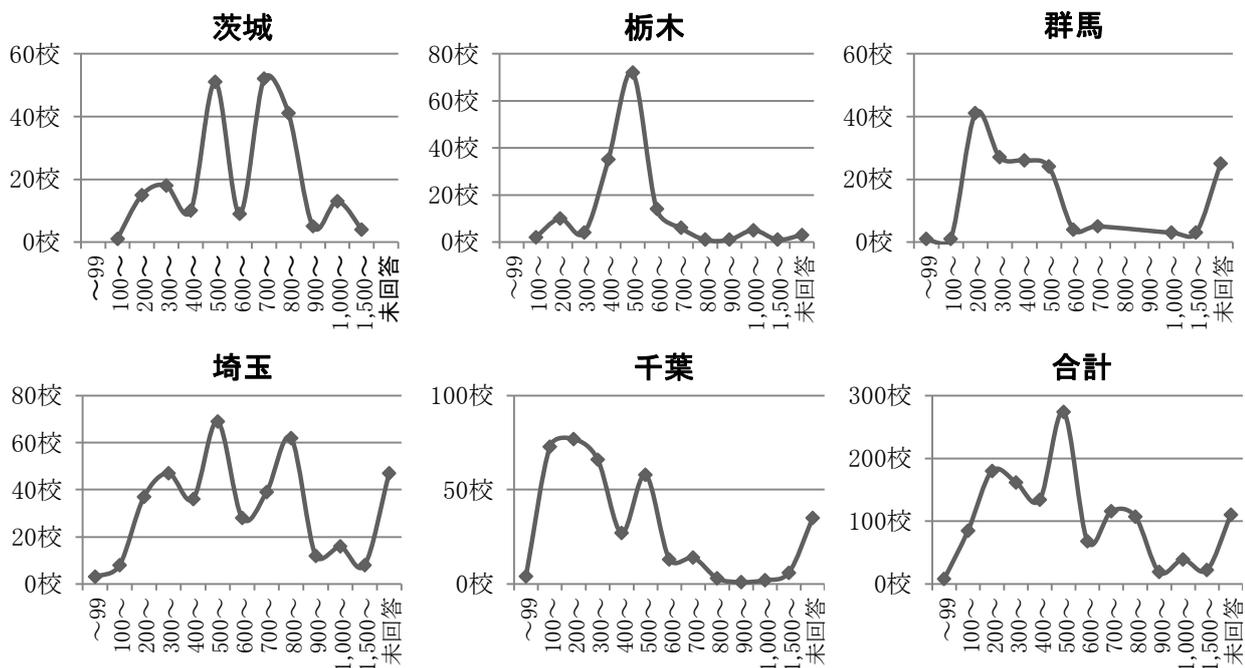
円

	茨城	栃木	群馬	埼玉	千葉	平均
宿泊費	21,164	20,849	21,358	19,588	20,831	20,568
交通費	24,375	27,098	25,070	18,798	16,620	20,959
貸切バス代	8,621	8,208	8,073	4,867	7,446	7,051
保険料	692	539	510	680	395	565

(19) 県別保険料(生徒一人当たり平均額)

校

	茨城	栃木	群馬	埼玉	千葉	合計
～99			1	3	4	8
100～	1	2	1	8	73	85
200～	15	10	41	37	77	180
300～	18	4	27	47	66	162
400～	10	35	26	36	27	134
500～	51	72	24	69	58	274
600～	9	14	4	28	13	68
700～	52	6	5	39	14	116
800～	41	1		62	3	107
900～	5	1		12	1	19
1,000～	13	5	3	16	2	39
1,500～	4	1	3	8	6	22
未回答		3	25	47	35	110
合計	219	154	160	412	379	1,324

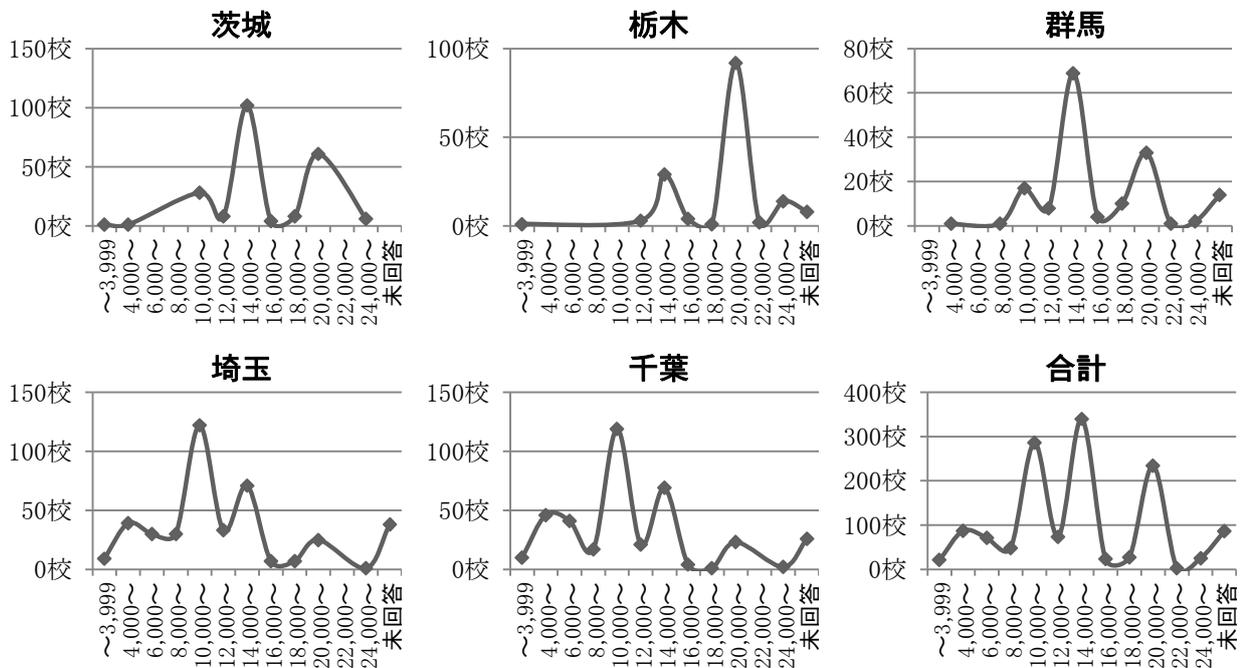


(20) 県別小遣い(生徒一人当たり平均額) 校

	茨城	栃木	群馬	埼玉	千葉	合計
～3,999	1	1		9	10	21
4,000～	1		1	39	46	87
6,000～				30	41	71
8,000～			1	30	17	48
10,000～	28		17	122	119	286
12,000～	8	3	8	33	21	73
14,000～	102	29	69	71	69	340
16,000～	4	4	4	7	4	23
18,000～	8	1	10	7	1	27
20,000～	61	92	33	25	23	234
22,000～		2	1			3
24,000～	6	14	2	1	2	25
未回答		8	14	38	26	86
合計	219	154	160	412	379	1,324

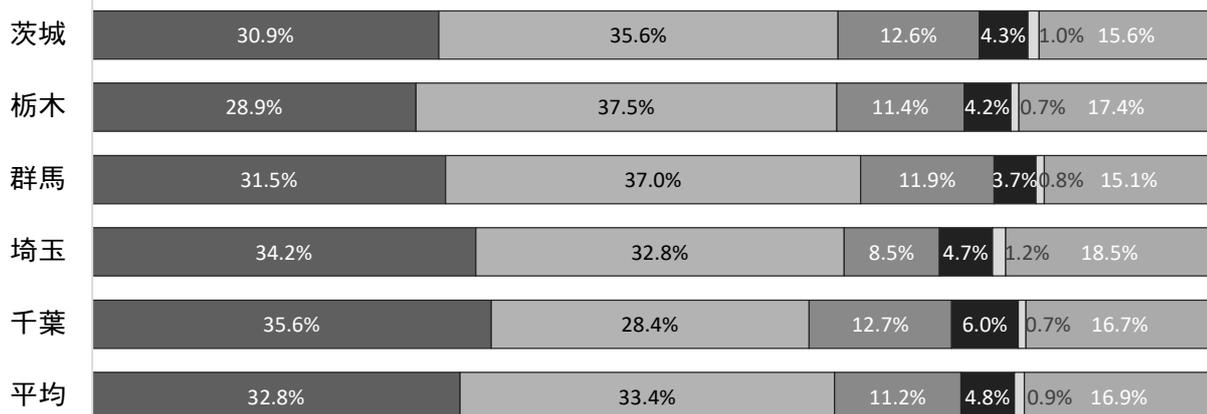
(21) 県別小遣い平均(生徒一人当たり) 校

	茨城	栃木	群馬	埼玉	千葉	平均
	16,037	19,288	16,377	11,018	10,654	13,409



## 県別費用内訳

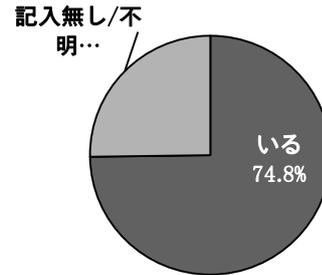
■宿泊 ■交通 ■貸切バス ■体験活動 □保険 ■その他



(22) 不参加生徒の有無

	茨城	栃木	群馬	埼玉	千葉	合計	割合
いる	175	110	109	296	300	990	74.8%
記入無し/不明	44	44	51	116	79	334	25.2%

※記入無し/不明 には平成26年7月以降実施の学校も含む



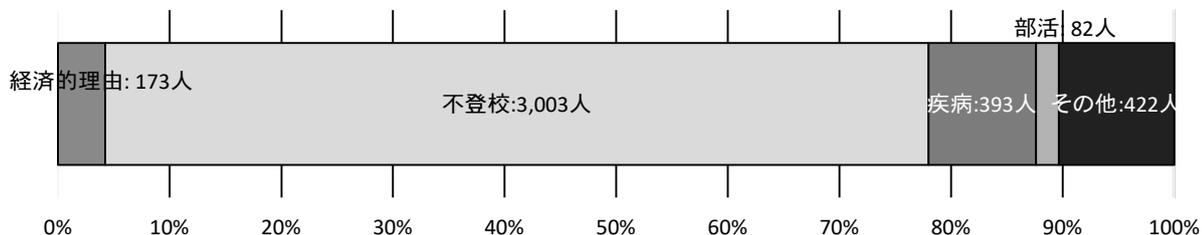
(23) 理由別不参加の延校数と生徒数

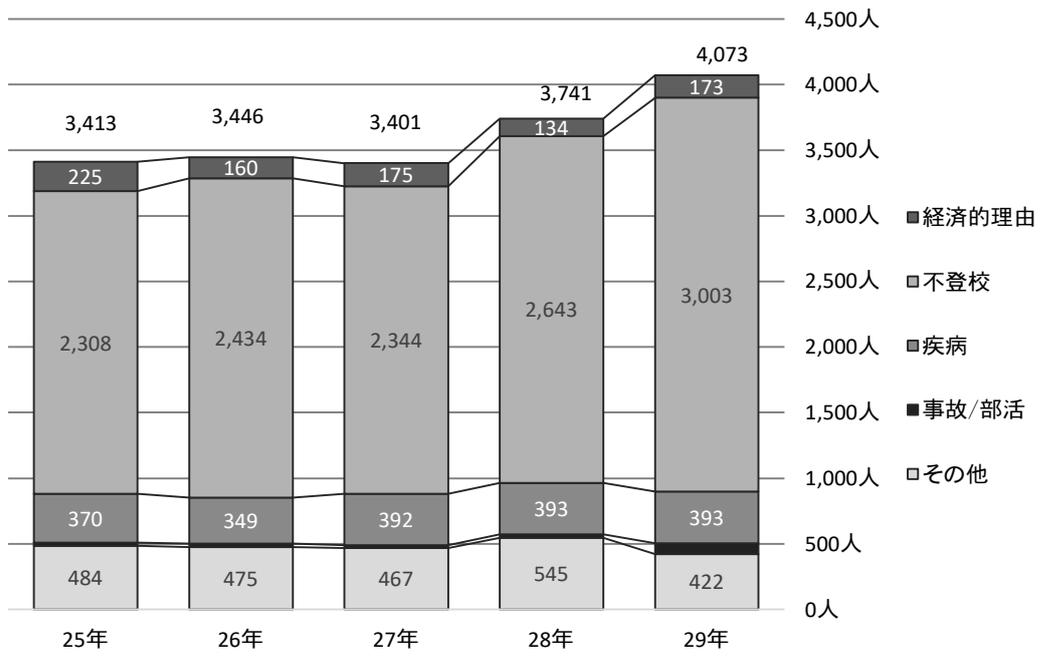
		茨城	栃木	群馬	埼玉	千葉	合計
合計	学校数	175	110	109	296	300	990
	生徒数	571	377	405	1,449	1,268	4,070
経済的理由	学校数	26	21	14	28	28	117
	生徒数	42	32	19	44	36	173
不登校	学校数	154	100	100	274	280	908
	生徒数	395	264	314	1,095	935	3,003
疾病	学校数	53	29	22	81	87	272
	生徒数	86	34	30	110	133	393
部活動等	学校数	7	6	3	24	10	50
	生徒数	9	8	6	39	20	82
その他	学校数	42	22	28	89	74	255
	生徒数	60	39	36	156	131	422

※内訳不明の学校があるため、合計数は一致しない

理由別不参加生徒数

- ・不参加生徒のいる学校の割合は、昨年が980校/1,333校で73.5%、今年、990校/1,324校で74.8%となり、校数で10校、割合では1.3%の増加となっている。
- ・不参加生徒の総数は4,070人、昨年度の3,752人と比べ、318人増加している。
- ・経済的理由による不参加生徒数は173名で、昨年度より39名増加している。また、不登校生徒も360名増加している。不登校やその他に分類されている生徒の中にも経済的理由に起因して不登校になっている生徒や、それ以外の理由等でその他に分類されている生徒がいることを考慮すると、173名よりも多いと思われる。

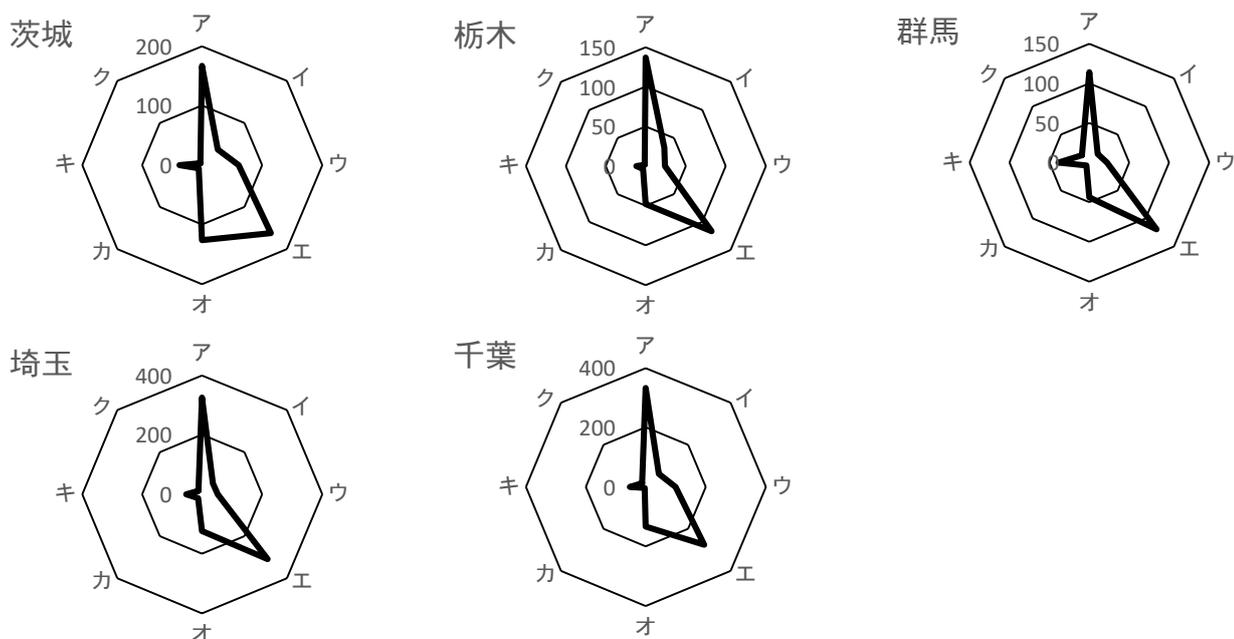




## 2 実施方面の検討・変更について

### (1) 方面決定の際に参考になっているもの(複数回答) 校

	茨城	栃木	群馬	埼玉	千葉	合計	割合
ア 学年の意向	167	137	114	325	333	1,076	81.3%
イ 生徒の意見	37	33	15	51	62	198	15.0%
ウ 保護者の意向	61	24	22	52	99	258	19.5%
エ これまでの前例	162	116	119	308	275	980	74.0%
オ 旅行会社の情報	126	48	44	124	133	475	35.9%
カ 説明会情報	8	5	5	19	5	42	3.2%
キ 他校の動向	38	12	39	53	53	195	14.7%
ク その他	4	2	13	17	18	54	4.1%



#### 方面決定の際に参考になっているもの

・何れの県においても、「学年の意向」と「これまでの前例」が上位1、2位を占めているが、3位の「旅行会社の情報」については、各県によって若干の差が見られる。

・「保護者の意向」、「生徒の意見」についても、県によってある程度の差が見られる。

・「他校の動向」については、決して大きいとは言えないが、影響を与えていることがわかる。一方、説明会情報については低い数字となっているが、先生方が多忙のために参加できないと言う事情も見え隠れするようである。

### (2)-1 実施方面検討・変更予定 校

	茨城	栃木	群馬	埼玉	千葉	合計	割合
ない	203	146	146	404	308	1,207	91.2%
ある	3	4	9	5	39	60	4.5%
検討中	13	4	5	3	31	56	4.2%

### (2)-2 実施方面検討・変更予定年度 校

	茨城	栃木	群馬	埼玉	千葉	合計	割合
30年度	8	3	4	3	24	42	3.2%
31年度	5	2	2	2	24	35	2.6%
それ以外	1	2	5	2	11	21	1.6%

それ以外：32年度頃、毎年、未定 等

**(3) 検討・変更の内容について**

校

	茨城	栃木	群馬	埼玉	千葉	合計	割合
方面変更	16	7	13	8	69	113	8.5%
交通機関変更	30	6	6	8	63	113	8.5%

**実施方面の検討・変更予定について**

- ・「ある」と「検討中」を合わせて、116校、8.7%である。千葉県の学校が多い。
- ・交通機関の変更を除き、方面変更を考えてる学校は113校となっている。

**(4) 変更希望方面(複数回答)**

校

	茨城	栃木	群馬	埼玉	千葉	合計	割合
1 北海道				2		2	1.8%
2 東北			1	1	14	16	14.2%
3 会津・日光					12	12	10.6%
4 関東・伊豆		1			1	2	1.8%
5 信州					18	18	15.9%
6 北陸	1			2	22	25	22.1%
7 関西	6	4	7	2	27	46	40.7%
8 広島・関西	10	2	2	4	11	29	25.7%
9 広島			1	1	4	6	5.3%
10 海外/その他			4		6	10	8.8%

**変更希望方面について**

- ・検討の対象となっている方面は、「関西」と「広島・関西」方面が多い。
- ・北海道新幹線、北陸新幹線の新たな計画輸送設定の影響もあって、「北陸」と「北海道」、「東北」についても、関心を示す学校も出始めている。

### 3 学びの集大成を図る修学旅行の取組について

#### (1) 修学旅行を通して育成したいもの(複数回答)

校

	茨城	栃木	群馬	埼玉	千葉	合計	割合
ア 集団活動する力	215	153	152	402	370	1,292	97.6%
イ コミュニケーション能力	152	128	124	315	296	1,015	76.7%
ウ 勤労観、職業観	41	14	11	37	53	156	11.8%
エ 社会参画意識	11	4	3	10	14	42	3.2%
オ 公衆道徳	184	119	126	317	278	1,024	77.3%
カ 歴史文化に親しむ心	184	128	126	332	282	1,052	79.5%
キ その他	6	3	3	4	8	24	1.8%

#### その他

グローバル人材育成

愛校心

外国人観光客とのコミュニケーション

感謝の気持ち

居住地との相違点を下げる

金銭感覚

自治能力の育成

自分たちの社会は自分たちで守ることのできる力(自主性等)

自分たちの力で困難な状況を乗り越えていく力の育成

平和学習

保護者との関係性を深める。手紙のやりとりを通して親子の関係を改めて考える中で心の成長を図る

進路学習を含めた進路計画を立て、学校説明会や体験入学に参加するための日程を立てられること

場面に応じた対応能力

震災学習

総合的な学習の調べ学習(フィールドリサーチ)

対応力、判断力、行動力

伝統文化を知り、価値を学ぶ

#### 修学旅行を通して育成したいものについて

・何れの県も最も育成したいものは「集団活動する力」である。次に育成したいものとしては、千葉県が「コミュニケーション能力」を挙げ、その他の県は僅差、または同率ではあるが「歴史に親しむ心」を挙げている。「公衆道徳」までの4項目は、やはり高い数値を示している。

#### (2) 修学旅行の実施への生徒の関わり方

校

	茨城	栃木	群馬	埼玉	千葉	合計	割合
ほぼ全面的に関わる	33	14	23	110	65	245	18.5%
主に見学地・体験に関わる	139	114	106	233	219	811	61.3%
班別・係活動に関わる	47	25	29	69	90	260	19.6%
係活動に関わる					1	1	0.1%
その他					2	2	0.2%

#### 修学旅行の実施への生徒の関わり方について

・何れの県も「主に見学・体験に関わる」が最も多くなっている。「ほぼ全面的に関わる」が18.5%に上るのは興味深い。

・学校規模によっても、その関わり方が違ってくるのではないか。

### (3) 三年間を通して行っている取組について

校

	茨城	栃木	群馬	埼玉	千葉	合計	割合
全てを関連付けている	129	116	127	354	320	1,046	79.0%
講話や事前学習を実施	56	25	22	46	42	191	14.4%
教科授業を関連付ける	151	102	97	253	219	822	62.1%
特になし	18	4	5	8	5	40	3.0%
その他		6		8	4	18	1.4%

#### その他

1年時も同じ民泊先  
 2年次の東京校外学習で班別行動を取り入れている  
 2年宿泊行事と修学旅行と関連づけている  
 2年生6月実施の校外学習  
 2年生で班別行動での校外学習に取り組んでいる  
 2年生の行事（立志の船）を修学旅行と関連付けている  
 2年東京フィールドワーク  
 社会体験や上級学校訪問など  
 全校生徒で手縫いの雑巾を作り、修学旅行先に配っている  
 総合の中で課題設定能力や調べ学習を生徒が主体的に取り組むことができるように指導している  
 総合的な学習の時間と関連させ「お茶の学習」を進めており、宇治や関連会社への見学を予定している  
 総合的な学習の時間内での学校行事を通しての生徒育成  
 他学年遠足  
 多くの行事や他の取組  
 段階的に旅行・宿泊行事を計画し、修学旅行につなげている。  
 班別コースをつくらせるので、日頃から班活動の充実を図る取り組みを行い、リーダーの育成に力を入れている  
 冒険活動 社会体験活動

#### 三年間を通して行っている取組について

・学びの集大成を図る修学旅行の取組ということで「全てを関連付けている」、「教科授業を関連付けている」が高い数値なのは納得できることである。

・その他の項目では、各学校が創意工夫を凝らして取り組んでいる様子が窺える。

### 4 修学旅行中の安全対策について (複数回答)

校

	茨城	栃木	群馬	埼玉	千葉	合計	割合
自然災害対策	124	70	87	228	208	717	54.2%
人的災害対策	159	123	126	305	295	1,008	76.1%
アレルギー対策	207	140	144	381	348	1,220	92.1%
感染症対策	59	54	35	131	110	389	29.4%
その他		2		11	5	18	1.4%

#### その他

病気・けが・落とし物  
 てんかんの生徒への対応  
 てんかん発作時、行方不明者が出た時の対応  
 バス・新幹線の遅延対策  
 一般の方、他校とのトラブル、迷子  
 学校で加入している保険の他に旅行会社独自の保険に加入  
 持病生徒対応対策  
 熱中症対策  
 病気になった場合の現地の病院について確認する。  
 北朝鮮のミサイル、テロ等の近年問題視されている人的災害についても想定に入れて事前指導に取り組んだ。

#### **修学旅行中の安全対策について**

・圧倒的に「アレルギー対策」に配慮がされていることが分かる。また、「人的災害対策」についても高い数字となっている。一方で「感染症対策」については、低い数字になっているが、平成21年の新型インフルエンザの流行とその時の対応状況を教訓とすれば、もう少し高くてもいいのではないか。

### Ⅲ 調査結果から

#### 1 方面の検討について

##### (1) 方面決定の際に参考にしているもの

- ・何れの県においても、「学年の意向」と「これまでの前例」が上位1、2位を占めていて、3位の「旅行会社の情報」までは、各県とも同じような傾向が見られる。
- ・「保護者の意向」、「生徒の意見」についても、県によってそれ程大きな差は見られないが、生徒よりも保護者の意向を聞いているというのは興味深い。
- ・「他校の動向」については、決して高い数字とは言えないものの、一定の影響を与えていることが分かる。一方、「説明会情報」については低い数字となっているが、開催する側の日程の設定や場所等、いくつかの課題が感じられる。

##### (2) 実施方面の検討・変更予定について

- ・関修委全体としては91.2%の学校が検討・変更の予定はないと回答している。
- ・一方で、「ある」と「検討中」は合わせて、116校、8.7%である。千葉県では10.3%の学校が検討・変更予定があり、現在、検討中の学校は8.2%である。
- ・交通機関の変更を除き、方面変更を考えている学校は113校、8.5%となっている。

##### (3) 変更希望方面について

- ・検討の対象となっている方面は、「関西」と「広島・関西」方面が多い。
- ・北海道新幹線、北陸新幹線の新たな計画輸送設定の影響もあって、「北陸」と「北海道」、「東北」についても、関心を示す学校も出始めている。

#### 2 「学びの集大成を図る修学旅行」の取組について

##### (1) 修学旅行を通して育成したいものについて

- ・何れの県も最も育成したいものは「集団活動する力」である。次に育成したいものとしては、千葉県が「コミュニケーション能力」を挙げ、その他の県は僅差、または同率ではあるが「歴史に親しむ心」を挙げている。「公衆道徳」までの4項目は、やはり高い数値を示している。その他も含めて何れのものも「生きる力」の基本となるものである。
- ・その他からはそれぞれの学校や生徒の状況により、課題に対応した地道な取組がなされている様子が窺える。

##### (2) 修学旅行の企画・実施への生徒の関わり方

- ・何れの県も「主に見学し・体験に関わる」が最も多くなっている。「ほぼ全面的に関わる」が18.5%に上るのは興味深い。

- ・学校規模によっても、その関わり方が違ってくるのはむしろ自然である。

(3) 3年間を通して行っている取組について

- ・学びの集大成を図る修学旅行の取組ということで「全てを関連付けている」、「教科授業を関連付けている」が高い数値なのは納得できることである。
- ・その他の項目では、各学校が創意工夫を凝らして取り組んでいる様子が窺える。

3 修学旅行中の安全対策について

- ・圧倒的に「アレルギー対策」に配慮がされていることが分かる。また、「人的災害対策」についても高い数字となっている。

## IV まとめと今後の課題

### <まとめ>

- ・本年度も、関東地区公立中学校修学旅行委員会では「学びの集大成を図る修学旅行 ～感性をはぐくむ修学旅行～」をテーマとし、調査研究を実施してきた。

今年度は、特に、

- (1) 修学旅行を通して育成したいものについて
- (2) 修学旅行の企画・実施への生徒の関わり方
- (3) 3年間を通して行っている取組について

上記の3つを柱に調査研究を進めている。

8回目の改訂となる新しい学習指導要領が告示され、改訂のポイントとして、「何を学ぶか」「どのように学ぶか」「何ができるようになるか」という、学校教育の方向性について三つの視点が明確に示された。

修学旅行については、大きな変化はないものの、「どのように学ぶか」に係わって、「主体的・対話的で深い学び（アクティブ・ラーニング）」の視点からの学習過程の改善が重要であることを考えると、更にもその教育性の質的な改善を行っていくことが求められている。

今回、幸手市立西中学校の中里 正 校長先生、酒井 一好 先生からは「班行動学習の集大成としての修学旅行 ～生徒一人一人の自覚と責任のある行動を目指して～」と題し、生徒たちの自己肯定感を高めるため班行動を大切にしたい、そして、その集大成としての修学旅行を作り上げていくという実践例の発表である。

また、北本市立西中学校の西山 宏 校長先生、蟹江 文久 先生からは「生徒が主体的に取り組み 明るい未来を切り拓く修学旅行 ～よりよい学校生活・よりよい未来を築こう～」と題し、自分らしい生き方を主体的に考えようとする態度を育てることに大きなポイントを置いたためである。そのために、修学旅行で出会う人々とのふれ合いを、進路指導・キャリア教育にも繋げていくという実践例の発表である。

これらの2つの実践例と調査研究されたアンケートは、今後の各学校の「修学旅行」の方向性を考える参考にしていただくとともに、一層充実した修学旅行が展開されるための一助なればと考えている。

### <課題>

- (1) 関修委の県別旅行費用の平均が、昨年、初めて6万円を超えたが、バス代等の値上げもあり、引き続き上昇傾向にある。教育旅行として、いかにして質の高い修学旅行を実現していくか、学校としては頭の痛い問題である。特に、遠隔地の学校や少子化で生徒数が減っている学校などでは、その影響は更に深刻である。教育旅行としての社会的な理解と支援を得られるような公的配慮・優遇措置等について求めていくことも必要ではないかと考えている。

(2) 関修委の訪問地の9割以上が京都・奈良、広島・関西方面となっていて、京都連泊が圧倒的に多い。関東地区という土地柄故のこともあるが、他の選択肢も修学旅行の目的を達成する上で、魅力的なところは多い。情報発信・交換を積極的に行っていきたい。

(3) 修学旅行における体験学習のねらいや目的は、以前と比べて更に多様になってきている。従来からある歴史体験をはじめ、自然体験、スポーツ体験、職業体験等、受け身の体験だけでなく、能動的な体験も含めて、その広がりと可能性をどう捉えていくかという視点も重要ではないかと考える。

(4) 今年度、何らかの理由で修学旅行に参加できなかった生徒の数は、5県で4,073人、昨年度の3,752人と比べ、318人増加している。

経済的理由による不参加生徒数は173名で、昨年度より39名増加していて、不登校生徒も360名増加している。不登校やその他に分類されている生徒の中にも経済的理由に起因して不登校になっている生徒や、それ以外の理由等でその他に分類されている生徒がいることを考慮すると、173名よりも多いと考えるのがより現実的である。

戦後、教育が一貫して目指してきた「人格の完成」と現行学習指導要領の基本理念である、「生きる力を育む」という目標は、学校という場だけでなく、また、教師という人材だけでなく、広く多くの関わりの中でこそ達成されるものである。そうした意味でも、修学旅行は最も重要な教育活動の一つであり、修学旅行のその行事（当日）だけでなく、そこに至るまでの道、つまりは、「学びの集大成を図る大切なプロセス」として、今後、50年、100年を展望していきたいと考える。